

西川 コミュニティだより

第67号

■発行／西川地域コミュニティ協議会

電話 0256-88-5900

FAX 0256-78-7544

■発行日／令和8年9月25日

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

「変わる、変える西川まつり」

西川まつり実行委員長 八百板 勲



中原市長(右)と筆者
(のど自慢大会会場)

申し上げます。誠にありがとうございました。

江戸期、曾根の代官所時代から連綿と続く曾根神社秋季大祭に合わせて行われる西川まつりは、曾根と鎧郷、そして升潟、三つの地域が合併した旧西川町時代からの、七十年を超える歴史あるまつりです。

今現在よりも、経済が低迷している時も、社会が混乱している時も、決して絶えることはありませんでした。先人達の努力と英知により、西川のまつりは規模や形態を変化させながらも、その時代に合わせて引き継がれてきました。



にぎわいの祭り会場

地域の伝統行事として受け継がれている西川まつりですが、近年「町内屋台の曳き手、傘鉾の持ち手不足や、屋台・傘鉾の老朽化」が深刻な問題であり、まつりの継続に危機感を抱いていました。また、近年の異常気象、特に猛暑対策も重要課題でした。

今年の西川まつりでは、子どもや女性を中心に町内屋台の曳き手や傘鉾の持ち手の一般募集を行い、みこし渡御・傘鉾巡行にご参加いただきました。

女性が持つ傘鉾は、記録が残る中では初めての試みとなり、来年以降も続けていきたいと思えます。



はじめての女性傘鉾
持ち手・西蒲区長(左)

また、暑さ対策として、みこし渡御・傘鉾巡行を三十分繰り下げて行いました。更に、交通規制の時間を見直し、対象地域にお住いの方々のご負担を軽減できたものと思います。そして初めての試みとして、大筒花火打上げの前に、花火観覧会場にて、のど自慢大会を実施しました。九十代から小学校低学年の子どもまで、幅広い世代からのエントリーがあり、会場を盛り上げてもらいました。

※次頁へ

■西川地域の総人口:9,962名(－39名) ■男:4,815名(－23名) ■女:5,147名(－16名) ■世帯数:4,104戸(－2戸)

() は、前号との比較(令和8年8月末日現在)

※前頁より

今、西川に住む私たちの使命は、まつりを次の世代に責任をもって引き渡すことです。これからも地域の皆様から、より積極的に主体的に「西川まつり」に



これから出番です

関わっていただき、伝統は守りながらも時代に応じて変えながら、次の世代まで残るまつりを一緒に考え、私たち西川のまつりを共に作っていきましょう。



初めてののど自慢大会

令和8年度時代激まつり開催について

がっつり！西川実行委員会

令和8年度の「越後にしかわ時代激まつり」は、代官役にティチクレコード所属の黒木じゅん（黒木憲氏のご子息）、奥方役に佐久間西蒲区長をおむかえし、10月11日（日）に開催いたします。

当日は、時代衣装に身をつつんだ総勢40名による代官献上米行列が公園内を練り歩き、代官献上米セレモニー、福まきを実施いたします。ステージでは、黒木じゅん歌謡ショーをはじめ、歌・踊り・太鼓の演奏など多彩な演目をお楽しみいただけます。

芝生広場などでは、数多くの出店やキッチンカーが並び、飲食や買い物を楽しめるにぎやかな空間となります。最後には、毎年大好評いただいている大抽選会を行います。ご家族・ご友人お誘いのうえ、ぜひご来場ください。



【消防署だより】

救急車は限られた資源です。適正利用にご協力をお願いします。

西蒲消防署西川出張所 亀山 正司

こんにちは！消防署からお知らせです。新潟市では年間約46,000件の救急出動があり、119番通報をした時は、約9分で救急車が到着します。

ここで質問です。新潟市には救急隊は何隊あるでしょうか？答えは25隊です。もし、近くの救急車が出動していた場合、遠くから出動することになり、その分到着が遅くなります。救急車は限られた資源です。大切に使いましょう。ただし、次のような症状はすぐに119番通報をしてください。激しい胸や頭の痛み、意識がない、呼吸が苦しう顔や唇の色が悪い時等です。救急車を呼ぶべきか迷った時は、かかりつけの医師や西川に相談しましょう。

休日と夜間（18時～翌日8時）の相談窓口として、救急医療相談（#7119）と小児救急医療相談（#8000）があります。症状から緊急度を判定できます。ダウンロードはこちらから。利用無料（通信料は利用者負担）。

全国版救急受診アプリ

Q助

症状から緊急度を判定できます

ダウンロードはこちらから

利用無料（通信料は利用者負担）

A I 救急相談アプリ

チャットで相談

症状から緊急度を判定できます

ご利用はLINEで友だち追加するだけ

友だち追加はこちらから

利用無料（通信料は利用者負担）

救急医療電話相談

県内のプッシュ診療・携帯電話からは

7 1 1 9

小児救急医療電話相談

県内のプッシュ診療・携帯電話からは

8 0 0 0

経験豊富な看護師などが医療機関の受診の必要性や、対処法について助言します。

※相談時間：毎日18時から翌朝08時まで

（#7119・#8000ともに）

【お気に入りの作品（洋画）】

花は咲く 十五年の春に

大橋 豊子（八番町）

いわゆる六十の手習いをお願い顔を出したNHKの油絵講座が、二十年も続く私の絵との出会いとなりました。中学卒業以来、描画の機会など無かった私にとって、それは苦しいけれど楽しい事にもなっていました。

絵画教室に通い始めると、展覧会への出品を奨められました。なかでも、東京新国立美術館での二科展に出席した所、入選！するとおもしろさが加わって、ますます描画に時を費やすようになりました。初めは、子ども達が使っていた楽器を題材に描いていたのですが、センスも才能もない私、二科展入選などが続くと、いつの間にか描き続ける事が生き甲斐になっていました。単純なのです。下手の横好きはまだしばらく続きそうな気配なのですが、寄る年波には勝てず、根気も続かなく、題材も身近にある花に移ってきました。

この絵は、丁度東日本大震災から十五年目に咲いた庭のボタンを描いてみたものです。



【地域】

スーパーカブでまち散歩

西川まち歩きのお事務局 野沢 達雄

道は広くて真つすぐな方がいいかといえど、曲がりくねっていた方が歩いていて楽しい。

そういう目で見ると、西川地区は歩いてうれしい小路が多い。徒歩でも自転車でも、道端の草花を眺めたり、お地藏様に手を合わせたりするのはうってつけのまちだ。

一方で、歩きや自転車で行くには少し遠すぎるところにも心惹かれる景色はある。クルマで行けば駐車場を探さなければならぬ。路上駐車は通行の邪魔になる。ということで、近所の自転車屋さんで見つけたのが、中古のスーパーカブである。

原動機付き自転車。排気量50cc。最高速度30キロ。トコトコと走った先は新川である。広々とした田んぼの真ん中をゆったりと流れる新川の水面（みなも）には角田山の青い陰が映る。

以前から気になっていたのが「茫々（ぼうぼう）橋」だ。なぜボウボウ？手元の『西川郷土史考』によれば、新川集落はかつて「茫々」とも呼ばれていた。川淵には草が茫々と生い茂り、橋が架かるまでは、船着き場を作るための草刈りに難儀したという。

先人の苦勞を偲ばせる名を付けられた「茫々橋」は、1966（昭和41）年に完成した。60歳を迎えた橋を渡り、右岸にバイクを止める。角田を振り返れば田を吹き渡って

くる風が心地よい。茫々の草たちも葉先を揺らす。遠くでは、自転車でやってきた中学生らがバス釣りを楽しんでいた。

新川開削の歴史をつづる資料によれば、新川には、日本海に最も近い「渚橋」から、鰐渚の「弁天橋」まで二十八本の橋が架かる。下流から順番に数えたと「茫々橋」は二十四番目。いつか土手沿いの道を辿りながら、橋の数々を巡ってみたい。



星空かたり：ふたたび：太陽

個人天文台長 吉崎 正人（鑑2区）

太陽望遠鏡が仲間入り

天文台に太陽望遠鏡がやって来ました。

太陽は、まぶしくて直接見ることはできません。ましてや望遠鏡で見たら失明してしまいます。みなさん絶対に望遠鏡で直接見ないでください。この望遠鏡は特殊な構造になっていて、安全に太陽の素顔を見ることが出来ます。見たくなったら、興味がわいたら、私に相談してください。…お見せいたします…



望遠鏡で撮影した8月6日の太陽



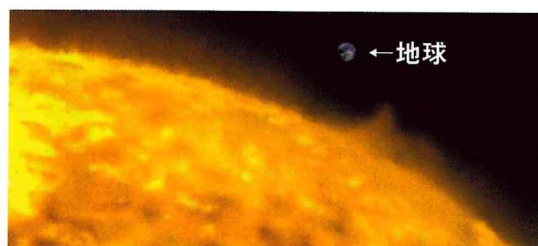
太陽

今回は太陽のお話です。

太陽は、私たちが生きていくために必要なたくさんの力を与えてくれています。光と暖かさで植物を育て、植物は酸素を作り、空気中に酸素がたくさんあることで、人を含むあらゆる動物が呼吸することができています。そんな太陽を観察すると、日々違う顔を見せてくれます。

プロミネンス

太陽の表面からは炎状のガス（プロミネンス）が噴き出しています。大きさはさまざまで、時間とともに形が変化します。左の8月5日に見えたものは、上の写真の太陽と地球を比較したものからして、地球よりも大きいことが分かります。すごいですね。



太陽と地球の大きさ比較

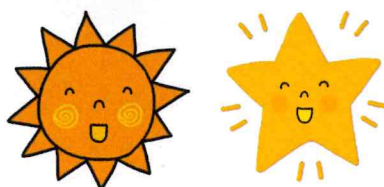


8月5日の太陽 拡大

おまけ話 水星と金星

実は、地球より太陽に近い水星と金星は、望遠鏡で観察すると月のように満ち欠けた姿を見ることが出来ます。特に金星は非常に明るく、太陽に近い位置でなければ昼間でも望遠鏡で観察することが出来ます。

左の写真は、昼間に撮影した三日月状の金星です。



天体望遠鏡で見たくなったら

お気軽に連絡ください。

西蒲区 鮎187-5

吉崎 正人

☎ 090-5394-9059

では、また会えることを願います。

まったね！！

【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ④③

ガンバって かいたよ！

和光幼稚園



「うみのおさかな」

なかよしのおさかな、ハートのもようがかわいいよ！おともだちはカラフルでかいたよ。

年少（3歳児） けしま 毛島 彩日 あさひ

「うみ」

くらげ・たこ・さかなのうみのいきものが、なかよくあそんでいるよ！

年中（4歳児） そうま 相馬 叶和 とわ



「うみのなか」

うみのなかで、いろいろないきものがきもちよさそうにおよいでいるよ！

年長（5歳児） さとう 佐藤 侑愛 ゆあ



【国際通信アリゾナ旅行】

隕石クレーターとの出会い

目黒 光子



グランドキャニオン

ラスベガスに住んでいた時、ネバダ州の隣のアリゾナ州へ車で旅行をしました。目的地は、壮大な渓谷が広がるグランドキャニオンと、パワースポットとし

て有名なセドナでした。グランドキャニオンでは圧巻の景色、セドナでは神秘的な日の出を見ることができ、感動しました。



セドナ

意外にも、この旅行で一番印象に残っているのは、全く予定していなかった場所でした。

それは、グーグルマップ上でたまたま見



バリンジャー・クレーター

つけたバリンジャー・クレーターです。地図で見つけるまで、このような場所が存在することすら知らなかったもので、とても気になりました。セドナ滞在中に日帰りで行くことにしました。

そこは、約5万年前に隕石が衝突してできた巨大なクレーターでした。直径は約1.2キロ、深さは約180メートル。実際に行ってみると、想像をはるかに超える大きさに驚きました。



これまでに発見されたクレーターを形成した最大の隕石片

ガイド付きツアーではクレーターの外縁の一部を周り、このクレーターが火山ではなく隕石の衝突によってできたことをどのように証明したのか、NASAの宇宙飛行士たちがアポロ計画の際に月面地質訓練地として利用したことなど、興味深い話を聞きました。

ビジターセンターには隕石や宇宙に関する展示があり、実際の隕石と石を持ち上げて重さを比べることで、隕石の重さを実感することができました。また、アポロ宇宙船の実物大モデルもあり、一日中楽しむことができました。

約5万年前にできた巨大な隕石クレーターが、長い年月を経た今もその姿をとどめ、こうして自分の目で見る事ができる。そのことに、ただただ感動しました。たまたま見つけて訪れた場所でしたが、巨大なクレーターを目の前にし、その迫力にすっかり魅了されました。

グランドキャニオン、セドナ、そして巨大な隕石クレーターとの出会いも加わり、アリゾナの雄大な自然を存分に満喫した、忘れられない旅となりました。

善光寺資料を通してふるさとを見つめよう

西蒲・曽根郷ゆかりの文人研究会

私達の会では西蒲区文化施設を運営する市民の会の助成、西川地域コミュニティ協議会をはじめとする地元団体の協力のもと、「ふるさと探訪 越後善光寺資料展」を十月二十四日・二十五日に西川地区公民館で開催する準備を進めている。善光寺の歴史を通して旧西川町の特色を浮かび上がらせるとともに、善光寺集落出身の日本画家・渡辺更響（二八九七～一九四五）の紹介を目的とした内容となる。

古い記録によれば八月十六日に開かれていた無量寿仏御開帳、すなわち秘仏公開の日には、遠近問わず多くの参詣者が訪れ、そのにぎわいは秋季大祭・西川まつりをしのぐほどであったと伝えられる。しかし社会状況の変化とともに、祭礼に集う人々の数は減少の一途をたどってしまう。

こうした状況を受け、地元集落では大切な伝統を将来に残すべく、御開帳のハイライトである「御縁起」朗読の練習を、若手を集め昨年からは始めた。「御縁起」とは戦国時代、大関氏が当地を領地とした中世からの物語をつづったもので、これを聞け

ば信濃善光寺ゆかりの越後善光寺秘仏のありがたさが偲ばれよう。

今年も練習を八月八・九日の夜に行ったが、そこに新潟大学の学生数人が参加したことを特記したい。地元の人々と独特な節回しが難しい御縁起を、声を合わせて読んだ。遠くは新発田・五泉から駆けつけた学生も含まれている。これは地域を知る・地域貢献のあり方を学ぶ講義の一環として加わったもので、今年から八月十五日開催となった御開帳当日にも、赤川種雄会長と自治会の皆さんのおかげで、貴重な経験をさせていただいた。

なお学生達は十月の企画展に関しても運営スタッフとして参画するため、七月中から町内の史跡巡りをしている。これらの学びの成果は、十月二十五日に報告する予定である。

伝統を重んじつつも、次代へつなぐ道を模索しなければ姿を消しかねないことは多い。今回紹介した、地域の人々と大学生との共修は、試みの一例である。

ということ、読者の皆さんにおかれましては十月二十四・二十五日のご来場を心よりお待ちしております。



昭和2年以前の藁葺き屋根の善光寺御本堂



2026.8.15撮影

【コミュニティセンター講座案内】

笑顔あふれる、心あたたまるフラ教室

ハアラウフラカ・ライエ 主宰

松本 奈美子



【レッスン日時】

毎月 第1・2・4金曜日／10:00～11:30

【月謝】

5,300円 無料体験レッスン随時受付中！

【お問い合わせ】

090-1104-7345／主宰 松本 奈美子



ハアラウフラカ・ライエは、5歳から80代まで幅広い年代の方が、家族のようにお互いを思いやりながら楽しく学ぶハアラウ（フラ教室）です。
ハワイ・オアフ島のクムフラ、レアト・S・サビーニに師事し、ハワイの伝統文化であるフラへの敬意を大切にしながらレッスンを行っています。
「心からフラを愛し、心を開いて、広い視野を持ち、フラをみんなで分かち合う」この想いをモットーに、初心者の方も安心して楽しめる、笑顔いっぱいレッスンを心がけています。

西蒲中央病院
みさと祭開催のお知らせ

病院長 太田 宏信



【開催日時】

10月17日(土) 13時～15時30分

【会場】

西蒲中央病院 ※駐車場あります

※諸事情により内容が変更になる場合がございます

西蒲中央病院では、地域貢献の一環として地域の方々との交流を深めようという目的で、第8回 西蒲中央病院「みさと祭」を開催します。当日は、看護師による健康相談をはじめ、お子様も楽しめる縁日やワークショップや地元で採れた新鮮な野菜の販売など、ご家族皆様で楽しめる催しを予定しています。地域の皆様との交流を深め、健康について身近に考えていただける機会となるよう、スタッフ一同準備を進めています。どなたでもご参加いただけますので、ご家族やご友人をお誘い合わせのうえ、ぜひお気軽にお越しください。

【歴史・文化】

句集「桜並木」 畠山典子パート3

どこまでも 凜と立ちたる 稲穂かな



【大意】秋。どこまでも広がっている蒲原平野の田。稲がすくすくと伸び、穂が出て実ってきた。風雨に倒れたりしないで、立派にすくと立っている稲穂だなあ。

☆俳句では、収穫期の稲を秋の季語としている。角田山 弥彦山をバックに広がる稲田の豊かさ、日本の原風景を活写。

虫の声 窓を開ければ S席に

【大意】秋。夜になるとコオロギや鈴虫の音が、庭の草むらから響いてくるよ。居間の窓を開けると層大きく迫ってきて、まるで特等席に座って交響楽を聞いているようだなあ。



☆俳句で虫といえば、秋の夜に鳴く虫である。「S席に」と、コンサートの特等席に喩えてユーモアがある。



(次号へ続く)

【図書館】

「子どもたちが生き生きとした西蒲区」

新潟市立西川図書館 三富 紀子

今年の4月より西川図書館勤務となりました三富と申します。6年前まで巻図書館に勤務しておりましたので、久しぶりの西蒲区勤務となります。越後線の窓から角田山を眺める西川の風景は懐かし、田園風景に癒されながら出勤しております。

西川図書館に勤務して感じるのは、こどもたちの来館が多いなあ、ということ。親御さんやおじいちゃんおばあちゃんに連れられて来館し、絵本や図鑑など、楽しそうに借りて行ってくれます。

この原稿を書いている8月現在は夏休みですが、西蒲区在住のお子さんの他、遠方から帰省しているらしいお子さんもお見えになり、図書館のぬりえイベントに積極的に参加してくれています。「こんな本を探しています。西川図書館にありますか？」とカウンターで質問してくるお子さんもいます。そんな様子を見ていると図書館員としてとてもうれしくなります。

西川図書館では大人が読んでもおもしろい古今東西の児童書をたくさんそろえてお待ちしております。ぜひお子さんと一緒にお越しください。



【公民館主催事業】

身近な施設を有効に利用しませんか

西川地区公民館

日頃から当公民館をよく利用くださる地元の十代の若者と七十代の高齢者の方をそれぞれ一人ずつ紹介したいと思います。

公民館の学習室（後段の利用のご案内参照）で日々勉強に励まれている若者Aさんの声

公民館の魅力については、家から近くて無料で利用できること。

今後の公民館への要望は、時期によって利用者が増え、騒がしくなることが多いので、その時だけでも巡回を強化していただけると助かります。

ジャンルを問わず、公民館活動に毎回参加されてくださる高齢者Bさんの声

十五年前に脳梗塞をわずらい3カ月間入院生活を送られた時は全無話すことも出来なかった。現在は日々のリハビリの成果や家族の支え等もあり、当公民館活動（映画・コンサート・健康教室等）積極的にほぼ全てにわたり参加されている。

『西川地区は図書館もあり、西川多目的ホールもある。近くにいい施設があつて嬉しい。そして、私にとって公民館はすごく役立っています。』

最後に読者の皆様も、普段から身近な施設に目を配り明るく有効に活用してみましよう。

公民館・学習室利用のご案内

- *利用日…年末年始と毎週月曜日を除く毎日
- *時間…午前9時～午後9時半
- *対象…中学生以上（一般の方も利用可）
- ◆問合せ…西川地区公民館 ☎8812334



西川文化協会

「芸術・芸能秋まつり」

◆芸術展覧会（西川学習館 講堂）

10月17日（土）10時～17時

10月18日（日）10時～16時

いけばな・絵画・染織・川柳など

◆芸能発表会（西川多目的ホール）

10月18日（日）13時

剣舞道・カラオケ・クラシックバレエなど



おめでとうございます

ターゲットバードゴルフ連協大会

県協会大会兼競技資格認定証取得者大会

◎男子 ①内藤 俊男（西川TBGク）

②石川 悦雄（同）

◎女子 ①鎗城 左子（同）

編集後記

「曾根の祭りが終わったら、稲刈りだ。」と言われていた。ここ数年は猛暑が続いていたが、昔人の言うとおり秋の空が広がり、稲も首をたれている。

あなたは、運動・味覚・読書：何に励みますか。この時代「防災」も候補では？

【編集委員】◎江端 繁

榎本 博

柴田 弘文

◎灰野 直義

土田 正博

弘文